

執筆者紹介(掲載順)

- 磯永 和貴 東亜大学人間科学部准教授  
鳴海 邦匡 甲南大学文学部准教授、大阪大学総合  
学術博物館招聘准教授  
高橋 哲雄 本学名誉教授  
望月 和彦 桃山学院大学経済学部教授  
稲葉 浩幸 近畿大学経営学部教授  
中谷 哲二 天理大学付属天理参考館学芸員  
中野 朋子 大阪歴史博物館学芸員  
須賀 博樹 青山学院大学大学院文学研究科博士後  
期課程満期退学  
飯田耕二郎 本学総合経営学部教授  
石上 敏 本学経済学部教授  
谷山 英祐 本学経済学部専任講師  
後藤 郁夫 ミネルヴァ書房編集者  
小田 忠 本学商業史博物館学芸員  
池田 治司 本学商業史博物館学芸員  
山本 俊文 郷土史研究者  
岡村 良子 本学商業史博物館職員
- 運営委員(五十音順)  
伊木 稔 本学総合経営学部教授・当館館長  
石上 敏 本学経済学部教授  
谷山 英祐 本学経済学部専任講師  
西村多嘉子 本学総合経営学部教授  
林 妙 音 本学総合経営学部准教授

編集 後記

◆去る七月十八日、本学開学六十周年記念平成二十一年度大阪商業  
大学商業史博物館シンポジウム「激動期を生き抜く地域の中小企業  
―河内木綿から人工衛星まで―」(後援・東大阪商工会議所)を行い  
ました。伊木稔館長をコーディネータに、パネリストには、株式会社  
ロブテックス名誉顧問 地引 啓氏、山本光学株式会社代表取締役社  
長 山本為信氏、三重大学名誉教授 酒井 一先生をお招きし、学内か  
らは、経済学部前田啓一教授が参加。シンポジウムについては次号に  
載録する予定ですが、個人的な述懐を少し。一つの製品が成功しても  
三十年で一般化してしまい、次の製品を新しく開拓していかなければ  
ならないという。三十年といえは一世代。おりしも法制審議会が「成  
人は十八歳が適当」とする最終報告をまとめたそうだ。昔と違って寿  
命が延びた現在では、二十歳ではなくむしろ三十歳でやっと成人とい  
えるのではというような意見も聞く。十八歳と二十歳、その二年の差  
はどれほどなのか。人も製品と同じく、なるべく早く次を見通さなけ  
ればならないという「メッセージ」なのでしようか。三十年サイクル  
の開発に力を注ぐ企業人の勢いを感じる一方、歴史家である酒井先生  
にはそういった企業人に対する期待と将来に対する楽観が感じられま  
した。歴史は暗い見通しを語るものではなく、人の力を信じていいも  
のなのだ。(岡村良子)

大阪商業大学商業史博物館紀要 第十号

平成二十二年八月三一日

編集・発行 大阪商業大学商業史博物館

〒577-8505 東大阪市御厨栄町四―一―一〇

☎〇六(六七八五)六一三九

印刷・製本 株式会社RPSセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋二―二―二二

☎〇六(六九八一)三五三二

